

回復室での術後せん妄患者早期発見に向けての取り組みに関する研究

1. 研究の対象

2018年8月～2019年10月に手術後回復室に入室した15歳以上の全患者さんを対象

2. 研究目的・方法

術後せん妄は入院日数、医療費の増大、死亡率などへの直接的影響のみならず、患者さんの身体的・社会的生命予後に大きく影響することが問題視されてきています。その為、せん妄の予防や発症した場合は早期発見・早期介入が重要であり、術前・術中・術後に関わる手術室看護師の役割が期待されています。現在、私たちは術後せん妄の早期発見に向け回復室でせん妄評価を行っています。回復室とは、手術後の麻酔からの覚醒が不十分な患者さんに対し、呼吸・循環・中枢神経機能を管理する場所です。

今後、術後せん妄対策に取り組んでいくための示唆を得るために、回復室における術後せん妄発症およびリスク因子の実態の把握を目的とし本研究を行うこととしました。方法として回復室でのせん妄評価により、せん妄ありと判断された患者さんについて、看護記録用紙及び看護システムより、せん妄リスク因子(疼痛(NRS)、術式、手術時間、出血量、年齢、性別、脳器質障害・認知症・アルコール多飲、ベンゾジアゼピン系薬剤内服)を抽出し術前・術中のリスク因子の把握を行います。

研究期間：倫理委員会承認日(2020年2月14日)～2021年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：せん妄リスク因子(疼痛(NRS)、術式、手術時間、出血量、年齢、性別、脳器質障害・認知症・アルコール多飲(厚生労働省アルコール多飲基準)、ベンゾジアゼピン系薬剤内服)等

試料：電子カルテによる術前情報・手術看護記録・回復室における看護記録等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知大学医学部附属病院 手術部

西川 嵩造(研究責任者)

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 185-1

TEL 088-866-5811

-----以上